

環境に配慮した取り組み

自然エネルギーを利用した発電の実施に向けて

○ NEXCO中日本では、経営施策である「環境・持続可能社会への貢献の推進」の取り組みの一環として、自然エネルギーの導入によるCO2排出量の削減のための「太陽光発電」「水力発電」の実施に向けて工事を契約しました。

○ 工事概要は次のとおりです。

「太陽光発電」

工事場所：名古屋環状2号線 高針JCT～名古屋南JCT間の掘割部区間
(愛知県名古屋市名東区～愛知県名古屋市緑区)

工事概要：路線(12.7Km)の掘割部のルーバー上部を利用して、太陽光発電パネルを5.7Kmの区間に設置し、約2,000kwの発電を行う設備設置工事
パネル面積は約14,000㎡
発電した電力は掘割部の照明などへ供給。

工事期間：平成21年12月12日～平成23年2月4日

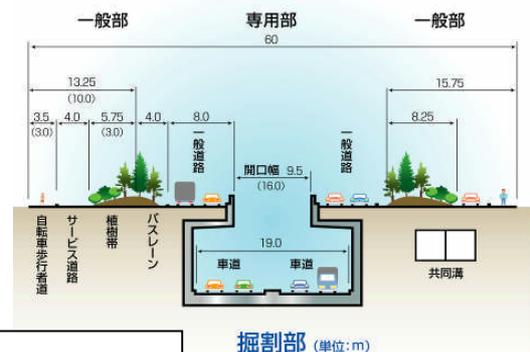
工事の特色：一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会の支援対策事業として、補助金を受けている工事。

高速道路としては最大規模の太陽光発電。

昼間必要となるピーク電力量を基に発電規模を設定。

当該区間の全体使用電力量の43%相当を削減。

年間のCO2削減量は約956t-CO2、電気料金削減額は約22百万円/年。



位置図と掘割部断面図



掘割部上部イメージ

「水力発電」

工事場所：東海北陸道 飛驒トンネル 白川坑口電気室付近
(岐阜県大野郡白川町大字萩町)

工事概要：飛驒トンネルの湧き水を有効活用し、50kw の小水力発電を行う設備設置
工事

発電した電力はトンネル照明などへ供給。

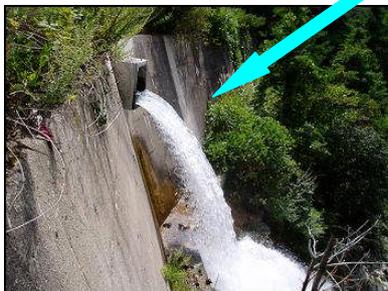
工事期間：平成 21 年 12 月 10 日～平成 22 年 12 月 10 日

工事の特色：水力発電は高速道路として初めての取り組み。

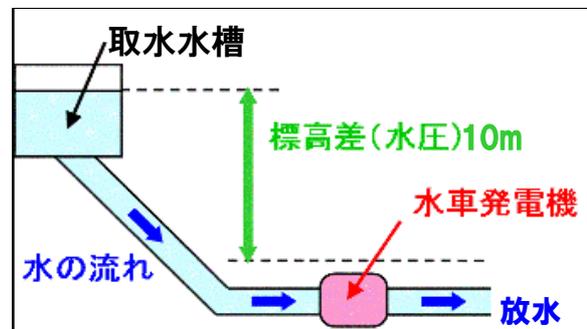
年間で約 41 万 kwh の購入電力削減、飛驒トンネルの年間使用照明電力の約 30%削減。

年間の CO2 削減量は約 195t-CO2、電気料金削減額は約 4 百万円/年。

庄川への湧き水の放水状況



水力発電イメージ



私たちは応援します
NEXCO中日本